



ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第335号

「霊的生活の潤い」

マヘル神父

5月の間はミサの前にロザリオを唱えています。ロザリオの言葉を私達は丸暗記して唱えていますが、観想的にイエススの生涯を味わいながら、唱えましょう。

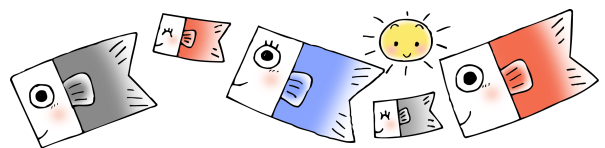
「霊的生活の潤い」・・・観想祈禱から受けるほかの祈り方の影響について。

他の祈りは、新しい深みと統一性を受けます。それでも命じられたプログラム通りの型に、はまった祈りの言葉を「唱える」だけでは気が済まなくなります。あらゆる「祈り」に、何か観想的な「質」が必要だと感じて、しかもその観想的な質を入れるコツをも心得てきます。つまり、あらゆる祈りを唱えたり歌ったりしても、それだけでは気が済みません。本物の祈りに変えたいのです。

観想祈禱を始めた当初は、口頭祈禱の数を減らして、反復性の祈りを避けるべきだと思われるかも知れません。特に、祈りの興味を無視した、早口でお粗末な失礼な祈りを「祈り」として認めるのに抵抗を感じます。ところが後になると口頭祈禱の数をまた増やすことになりましょう。特に反復性のあるもの（例えば、プライベートなロザリオ、射禱、イエスのみ名の祈り等）こう言う祈りに助けられて神の臨在を忘れずに神と共に歩むことが出来るからです。観想祈禱を実践するならば、祭儀や教会の祈りまでも潤いを与えら

れると第二バチカン公会議も指摘しました。私達が聖なるユーカリスチアの神秘を最も充実した形で分かち合うことができるためには、又は教会の公式な祈りに、より有益に、より深く参加できるためには、さらに私達の霊性がより豊かに養われるためには、心の祈りをあらゆる他の祈りに優先すべきです。無論、共同体が行っている教会の伝統的な信心行事は保存すべきですし、日常生活を正しく学ぶように気を配る必要があります。確かに、母なる教会が祈りの務めを短縮したり簡素化したりした理由は、まずその「務め」を本物の祈り、有意義な祈りにして欲しいから、さらに、個人的な心の祈りの為にもう少しの余裕を残したかったからです。

(6月号に続きます)



坂本神父様より・・・・・・・・・・2・3面
聖週間の典礼と行事の様子・・・・・・・・3面
園長挨拶・幼稚園より・・・・・・・・4面
委員会報告・・・・・・・・・・5面
ラバルタ神父様を悼んで・・・・・・・・6・7面
お知らせ・教会学校・・・・・・・・8面

水巻教会黙想会

2015年3月7、8日

ホリスティックと黙想 坂本陽明神父（鹿児島マリア山荘霊性センター司祭）第2回
坂本神父様から黙想会以降に送られてきた原稿；前回の続き

3 マザー・テレサの生き方

私はマザー・テレサと一緒に働いたことがあります。マザー・テレサは、「どの人の心の中にも、他の人の為に、自分が役に立ちたいという思いがあります。私たちの仕事（宣教）は、人の心の中にある、人の役に立ちたいと云う思いを実現させる、手助けをすることです。その場を探してあげる、機会を提供することです」と云いました。

また、こうも言っておられます。「静けさから、祈りが生まれます。祈りの実りは信頼・信仰・まかせる心です。信仰の実りは愛（人を大切・大事にすること）。愛の実りは、仕えること（奉仕）。奉仕の実りは、平和・安らぎです」 信仰とは、仕えるものになるという事です。

4 人の心の中に「望み」を起こさせる神の働きかけ

聖パウロのピリピ人への手紙2章12節には、こういう言葉があります。「私たちのうちに働きかけて望みを起こさせ、その望みを保たせ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは、神の良しとされるところだからである。」人の望みは、どんな望みも、神が祝福のために起こしてくれるものです。神さまの望みと、私たち人間の望みの区別はありません。望みは、すべて神さまの祝福に向かっているのです。自信を持って下さい。

黙想会における主要部での講話を話されたままお伝えします。

<マザー・テレサの元でのボランティア>

カルカッタで、マザー・テレサのところにボランティアに行きました。世界の各所から、ボランティアが来ていましたが、私も手伝うことになりました。どこで、私が何を手伝うかが決まるには、次の様ないきさつを経ました。

最初の場所では、シスターが私を簡単なクリニックに連れて行って、注射の針を持って来て、注射をして下さいと言った様なのです。そこで「私は注射はできません」と言いました。そしたらシスターは「OK」と言い、そして「カムヒアー」と言って、次の場所に。

次は薬局でした。そこでの仕事は薬の調合の様でした。そこで私は、「I cannot（できません）」と言いました。シスターは、ノープロブレムとおっしゃいました。

その次は、お風呂場があって、子供の背中を洗う仕事。加えて、洗濯して、看病する、シーツを洗って、絞る仕事、私は、「それはできます」と言うことができました。

日本では「これができない」、と言ったら、「あんたはこれでもできないですか？」と言われる場合もある。しかしマザー・テレサのシスターたちは、私は出来ませんというと、「ノープロブレム（大丈夫ですよ）」、「こちらに来てください」と言う。人の心の中には、何か誰かの

役に立ちたい、人のために、何かしたい。という思いがある。マザー・テレサは、私たちの仕事は、市役所の仕事ではない。やりたい人に、機会を提供するということだとおっしゃる。

＜人には望みが起きる＞

人に望みを起こさせ、望みを保たせて、実現に至らせるのは、神である。それは、神の良しとされたもの。何かしたい。他の人のために、役に立ちたい。例えば、黙想会があるので、行こうと思う。心に何かが起きる。どっかに行きたいとも思う。

そういう望みは、どういうものであっても、いい悪いはない。神のみこころと、私の思いは、違うか。否！ 私達の思いに、神様の思いが実現されている。

「私は駄目な人間、神のみこころはほど遠い。」いや、それは違う。神のみこころは、私の心の中に、あなたの心に、すでにある。感じることも、ここ（頭）である。マザー・テレサのシスターが見ているものは、その人の心、その人が何をしたいのかを見ている。

＜共感できる訓練を＞

私が申し上げたいことは、共感すること。人と心がつながることには、色々な表現の手段があるが、1つは言葉。言葉が何を言うか、その中に、その人の心がある。

その人が何を求めているか？これは感じようとしてもできない。そこで、感じる訓練をする、これは信仰養成に通じる。

私達は神様を求める。神様に近づくためにはどうしたらいいか。神様に近づくための「訓練」をしなければならない。研修会、信仰養成では、学ぶというより、訓練を実践する。実践して目指される事が、共感できるようになることだ



聖週間の典礼と行事の様子

枝の主日 枝の行列

3月 29 日は枝の主日。ミサ前に、枝を持って行列が行われました。イエスのエルサレム入場と歓迎を晴れやかに体験できました。
(枝を持って行列)



復活の日曜日

宗 友悠ちゃんの洗礼が行われました。



水巻聖母幼稚園からのお知らせ

2015年度 水巻聖母幼稚園子育て支援
「みんななかよく」ご案内

水巻聖母幼稚園で楽しく遊びにきてください。
毎月1回「みんななかよく」で皆様をお待ちしています。

5月25日(月曜日)10時～12時 参加費は無料です。
0歳児～入園前までのお子様を対象です。

園庭を開放し、室内でも遊びやお話など親子で楽しいひと時を過ごします。
親子で一緒に、お知合いや友達を誘ってぜひいらしてください！

エンゼルクラスのご案内

入園前にモンテッソーリ教育の環境でお子様の成長を見守っていきませんか。
子どもたちは集中することで、内面の満足感や幸福感を得ていきます。入園前の子供たちは身の回りの物を「やってみたい」「これなんだろう」と、何でも吸収しようとする特別に与えられた発達にいます。

大人の手を離れ、ひとりで動き全身をいっぱい使う体験を繰り返すことで心と体が成長していきます。エンゼルクラスではひとりひとりの成長発達段階に合わせて自立へのお手伝いをしています。

【対象】満2歳になられたお子様から入園前まで。

【日時】5月から水曜日、木曜日の2グループを予定しています。

【時間】10:00～11:30

【場所】幼稚園1階 エンゼルクラス

【保育内容】モンテッソーリ教育による自由行動・体を動かす遊び・外遊・絵本・おやつ

詳しいことは水巻聖母幼稚園にいつでもお尋ねください。

水巻聖母幼稚園 電話(093)201-9559

水巻聖母幼稚園にこの4月から務めさせていただく、松川明子と申します。コングレガシオン・ド・ノートルダム修道院のシスターです。戸畑の千防から通勤しています。

所属は戸畑カトリック教会ですが、日曜日は月3回は水巻カトリック教会に、1回は戸畑カトリック教会のミサに預らせていただく予定です。

火曜日から金曜日の毎朝のミサは水巻カトリック教会の信者さんとともに祈っています。ミサの中でマヘル神父のホミリア、共同祈願もあり、祈りのうちに一日を始めることができる日々感謝しております。

神父様をはじめ、教会の信徒の皆様には多方面にわたりお世話になると思います。すでに入園式にはマヘル神父様から子供たちにお話をいただきました。また幼稚園の施設修理、業者への手配、そして始園式、入園式では教会の生花を拝借したり、お花を活けていただいたりお世話になりました。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

松川 明子



委員会等報告

2015年4月分

4月度小教区委員会

4月19日

1. 先月の行事報告

- 灰の水曜日 3月5日(水)
- 黙想会 3月7日(土)、7日(日)
- 共同回心式 3月13日(金)
- 聖木曜日 4月2日(木)62名
- 聖金曜日 4月3日(金)73名
- 復活徹夜祭 4月4日(土)120名
- 復活の主日 4月5日(日)158名

2. これからの活動予定

- 納骨堂利用者集会 4月26日(日)
- 北村神父初ミサ 5月3日(日)
- 信徒総会(後の議論で日程変更)

3. 議題

- 議題 信徒総会資料(案)を中心に確認、微修正。種々、意見が出された。

信徒総会資料＝1. 式次第、2. 決算予算書(通常会計)、(特別会計)

意見：総会の実施が5月17日では間に合わない。

結論：同じ5月17日は再度、総会準備の小教区委員会を実施。総会実施日は延期する。

質問：信徒総会資料における塗装工事費用の流れは？

回答：特別会計の納骨堂献金(営繕積立)から定期解約、1000万円程度引き出し。これを通常会計に移行。通常会計内の営繕費で必要分(約750万円前後)を払っている。

意見：維持費等について収入の3%とあるが、目安を設けて欲しく、総会資料に掲載願いたい。

会長、副会長：主任司祭の意見により、記載して欲しくないとのこと。(経済の差があり、無理強いさせないこと。)

意見：営繕、駐車場等を信徒総会の議題にして欲しい。

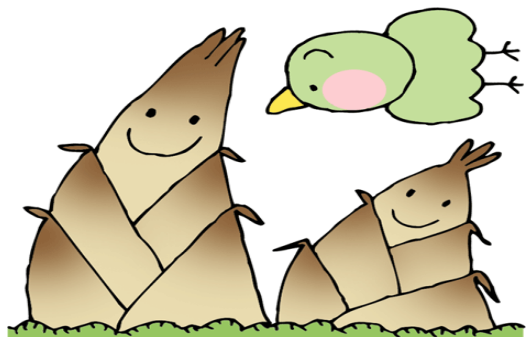
会長：了解した。営繕献金等について議題にする。

4. その他、報告

信徒館1Fの雨漏り、塗装工事の業者に依頼し、テラス付近を修理。様子を見る。

3月小教区委員会の議事報告に、高須地区から出された発言として、追加して欲しい旨要望があったので、記します。

- ①小教区委員会の規約の見直し、
- ②専門委員会の役割と活動、
- ③冠婚葬祭規約の新設、
- ④日曜日のミサ時間帯、
- ⑤重要な案件はアンケートでの調査・検討・対策を講ずること。



3月にフランスで帰天されたラバルタ神父様の追悼文を、二人が寄稿します。

ラバルタ神父様を悼む 1

エマニュエル・ラバルタ神父様が3月12日に帰天されました。

神父様は水巻教会に1982年4月から1987年3月まで在任されました。水巻教会から転任した後も北九州地区の教会で司牧されました。

神父様が水巻から転任してから28年になり、この教会にもラバルタ神父様を知らない人たちが多くなりました。

神父様は南フランスのスペイン国境の町で生まれました。お父さんはスペイン人で、フランスの発電所で働いていたときに、フランス人のお母さんと結婚したそうです。厳格な信仰の家庭で育ちましたが、家ではフランス語とスペイン語が日常的に話されていたそうです。

高校生の時、自分は司祭になるべきだと言う夢を見て司祭の道を選ぶことになったそうで、パリ外国宣教師会の神学校に進み、司祭に叙階されました。そして日本に派遣されました。自分に厳しく質素な生活と清貧を最後まで貫かれていましたことは有名です。水巻教会から転任するとき、教会建設資金として多額の寄付をされました。誰が教会に来て聖堂に寄ってから行かないと、「神様に挨拶してきましたか」と必ず言われたことを覚えています。

1990年代の初めから、北九州地区に住んでいるスペイン語圏の外国人信徒のために、天神町教会でスペイン語ミサを始めました。神父様はスペイン語を忘れていたのでこのミサのためにもう一度勉強しなおしたそうです。

福岡のイエズス会修道院にいたスペイン人のセトアイン神父様が良く手伝いに来られていましたが、二人はとても仲が良かったのでいろいろ聞くと、国境を挟んだ隣町の出身で、中学校での先生が同じだったということでした。陸続きの国であると、こういうこともあるのだと感心したものです。

スペイン語ミサに来るラテンアメリカの人たちは時間通りに来る人はほとんどおらず、「ミサは2時からですよ。2時半じゃないよ」毎月怒っていたのを覚えています。この話には、水巻教会に赴任していたガイヤール神父様が、「ラバルタさんは毎月、怒っているだろうね」と大笑いしたことを覚えています。

高齢になり一度帰国されましたが、やっぱりもう少し日本で働きたいと戻ってこられました。しかし来日してから自分が考えているより自分の高齢化が進んでいることを知り、日本での司牧をあきらめて帰国し、パリミッション会の老人ホームで老後を送っておられました。後年ガイヤール神父様が休暇で帰国した時にこの老人ホームを訪ねて行く途中で亡くなり、この修道院に埋葬されたと聞いています。今は同じ墓地で眠っておられることでしょう。

長い間、私たちのために司牧をしていただいたことを感謝し、ご冥福をお祈りします。

遠賀地区・岩本

ラバルタ神父様を悼む 2

私がラバルタ神父様と出会ったきっかけは、私が高校生のころに天神町教会のスペイン語ミサについていった時のことです。

半ば強引に母に連れていかれて通い始めた教会でしたが、友達もでき少しずつ通うようになっていきました。スペイン語ミサの茶話会は、ゆったりと時間をとっていたこともあり、何度か神父様とお話する機会がありました。その時の会話の中で「聖書の勉強をしてみませんか？」と声をかけてくださいました。わたしは「私は怠け者で、勉強が続くかどうかかわからないし、聖書を勉強するような立派な人間ではありません。」と答えました。それに対し神父様は「だから勉強するのです。」と言われました。毎週土曜日の仕事が休みの日に教えていただいていたいました。時々時間に遅れたり、復習をしていなかったりすると叱られたこともありました。しかし、厳しさの半面 聖書の勉強は親切に丁寧に教えていただきました。勉強以外にも、自身の仕事での出来事や家族の話をととても楽しそうに聞いておられました。

20代前半のころ私に初聖体の秘跡を授けてくださったのは、ラバルタ神父様でした。初聖体の記念にとラバルタ神父様から頂いたロザリオを今も大切に使っています。堅信を受けようと思ったのも、ラバルタ神父様から強く勧められたからです。

堅信の勉強はマンツーマンで指導を受け、怠惰な私には過酷な試練でした。毎週土曜日朝8時に家を出て電車とバスに揺られること2時間、ようやくたどり着き昼の12時まで勉強し、また2時間かけて家に帰りました。それでも乗り切れたのは、神父様の言葉に勇気づけられたからです。堅信式では主人との出会いでもあり、教会を通じてかけがえのない家族や友人に恵まれることができました。仕事の都合で教会から離れたこともありましたが、信仰を持ち続ける手助けをくださった神父様にととても感謝しています。頑固で融通のきかない神父様、というのが若かった私の印象ですが、その反面優しく正しい神父様でもありました。足が不自由にも関わらず勉強会の後は必ず階段を下りて見送ってくださいました。普段の使われている言葉やふるまいがとても上品でしたが、私の父母の行き過ぎた冗談にも笑顔で接してくださり、一緒に笑うような一面もありました。フランスへ帰られたあとも、私の家族や友人たちのことを気にかけてくださり何度か電話でお話したり、手紙を送ったりもしました。

神父様の訃報を知った時に信じられなかったのは、心のどこかでいつでも会えるという気持ちがあったのかもしれませんが。何年か前に数日有給休暇をとって、フランスへ神父様を訪ねる計画をしましたが休みの都合がつかず結局は行けなくなってしまいました。今思えばとても悔やまれます。

フランスから遠く離れた日本にきて多くの人に信仰の大切さを宣べ伝えられたラバルタ神父様。私も神父様によって信仰の恵に気づかされた一人です。ラバルタ神父様、天国でも大好きなパンとワインを食べていらっしゃるでしょうか？神父様から教えられた「信じる心」は、私の宝物です。ラバルタ神父様のお冥福を心よりお祈りいたします。 宗 恵美



★特別献金★

聖地エルサレム献金 21,480円

カテドラル献金 24,335円

ご協力、ありがとうございました。

★信徒総会★

5月17日に予定されていた信徒総会は延期になりました。日時が決まりましたら、ミサ中のお知らせでお伝えします。

★ホームページ変更★

水巻教会のホームページのアドレスが変更になりました。5月号から新しいアドレスを掲載しています。

★特別寄付★

高須地区の橋本久美子様より、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。



【洗礼】おめでとう！

◇ ミカエル 宗 友悠さん

(中間地区)

【帰天】安らかに！

3月24日

◇ 橋本 義男さん (高須地区)

4月4日

◇ 田中 美智子さん(海老津地区)



教会学校のページ



4月12日

出席者：野田明日美さん・永山楓海さん・

山田蓮さん

新年度に入り、初めての教会学校です。

今年度は、永山楓海さん(小5)、山田蓮さん(小2)が初聖体の勉強を始めます。第1回目は長崎大司教区信仰教育委員会の方が、冊子「こじか」にて紹介して下さった、「神様こんにちは！初聖体のじゅんぶのため」を読み、初聖体とはどのようなものかを考えました。

1) 神様について 2) イエス様について 3) 聖体について 4) 教会について
5) 聖体をいただく前にする準備について

この1年間、聖体をいただくときの心得と態度を学び、聖体をいただいた私たちは、神様の子どもとして元気にすごします。

ホルヘ神学生も、早速教会学校に参加して参加していただきました。

少人数ではありますが、教会学校でがんばっている子ども達を温かく見守っていただき、この1年ご支援をよろしくお願いします。